

共生・公正・創造



# ユニオン・EYE

<http://www1a.biglobe.ne.jp/jrtu-EWU>

ジェイアール東日本労働組合  
〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号  
TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290  
発行者/今井 伸 編集者/平 憲治

## “テロリストに乗っ取られたJR東日本の真実”

『週刊現代 - JR東日本革マル浸透問題告発 - 』 **連載第18回**

# 革マル派を守る「ガードマン」！？

『週刊現代』が、JR東日本の革マル浸透問題を連載記事で告発した。本紙は驚くべきこの事実をシリーズで紹介する。（JR連合民主化闘争情報号外より一部抜粋）

< 週刊現代2006年11月20日発売号 >

### 革マル派に「コウノトリ」と呼ばれる（JR東日本に天下った）超大物警察官僚！

98年1月、警視庁公安部は東京都練馬区にあった革マル派の非公然アジト「豊玉アジト」を摘発。公安部は、押収物を分析した結果、驚愕することとなる。「革マル派の電話盗聴テープのなかに、警察内部の電話を傍受したものがあつた。それだけでも驚きだが、そのなかの一本のテープには、柴田善憲氏（JR東日本初代監査役・元警察庁警備局長）の警視庁副総監時代のスキャンダルをめぐる、警視庁幹部の会話が録音されていた。...革マル派非公然部隊が握っていた柴田氏に関する情報を、『革マル派最高幹部』である松崎（JR東労組元会長）が知らないはずがない。JR東日本が87年、監査役に柴田氏を迎えた当時、松崎は反対しなかったそうだ。それは『スキャンダルをネタに柴田を屈服させることができる』と踏んでいたからだろう」（警察庁関係者）

つまり柴田氏は現役の超大物警察官僚だったころから、革マル派の掌に乗せられていたわけである。そして柴田氏は「JR革マル派のガードマン」に“転向”した後も、8年にわたってJR東日本の監査役を務める。その後、同社のグループ企業『ジェイアール東日本企画』の会長に就任。03年に別のメーカーの監査役に転出するまで、JR革マル派のために警察の捜査情報を入手するだけでなく、捜査妨害にまで手を染める。

「テロリストに乗っ取られたJR東日本の真実 革マル派に『コウノトリ』と呼ばれる超大物警察官僚」と題するこの記事は、「JR革マル派のガードマン」に転落した大物警察官僚のスキャンダルを暴いている。

柴田氏が犯した最大の罪は、警察首脳部に対し「松崎は転向した」「JR東日本に治安上の懸念はない」と繰り返し発言していたことだろう。柴田氏は革マル派から「コウノトリ」というコードネームで呼ばれていた。おそらく柴田氏は彼らにとって『幸福を運ぶ鳥』なのだろう。しかし、日本の治安にとってはまさに、“黒いコウノトリ”だった。

## 革マル派浸透を許したのは、JR東日本初代監査役だ！